



TOHOKU
UNIVERSITY

報道機関

各位

平成 22 年 8 月 23 日

東北大学大学院工学研究科

平成 23 年度東北大学大学院工学研究科大学院入試（博士前期 2 年の課程一般選抜）
における実施ミスについて

平成 22 年 8 月 23 日に実施した平成 23 年度工学研究科大学院入学試験（博士課程前期 2
年の課程）において、下記のとおり実施ミスがありましたのでお知らせいたします。

1. 試験の概要

試験日時：平成 22 年 8 月 23 日（月） 9:00～12:00 設計製図
13:30～15:30 専門筆記科目
24 日（火） 面接
合格発表：平成 22 年 9 月 1 日（水）

2. 試験科目名・受験者数

試験科目名：専門科目（都市・建築学専攻 都市・建築デザイン学講座）
受験者数：18名

3. 事実経過

都市・建築学専攻では、4つの講座ごとに、それぞれ別の試験問題を作成し、入学試験を実施しています。このうち、都市・建築デザイン学講座は、学生募集要項においては 23 日午前に設計製図を、同日午後に専門筆記科目の試験を執り行うこととなっていました。なお、他の 3 講座においては、午前に専門筆記科目の試験を執り行うこととなっており、午後は試験が予定されておりませんでした。

しかし、当日午前、誤って午後に実施すべき都市・建築デザイン学講座の専門筆記科目の試験問題を受験生に配付してしまいました。試験問題を誤って配付したことは、受験生からの指摘によって判明したものです。

試験開始直前に指摘があり、確認作業に時間を要したため、都市・建築デザイン学講座受験生に対して、午前と午後の試験科目を入れ替えて実施しました。専門筆記科目については、本来試験時間は 2 時間でしたが、他の講座の受験生と同一教室での受験であったため、混乱を避けるため、試験時間を他講座の試験と合わせて 3 時間としました。また、午後の試験時間を 1 時間延長し、3 時間としました。

試験は順調に実施され、試験終了後も特に受験生からの質問・意見等もありませんでした。また、他の講座の受験生に対する公平性に関しても問題はありません。

工学研究科では、ミスの経緯・対応をあらためて確認するとともに再びこのようなことがないよう、試験実施体制等について早急に見直しを行い、再発防止に万全を尽くすことといたします。

（お問い合わせ先）

東北大学大学院工学研究科

都市・建築学専攻 専攻長 植松 康

TEL 022-795-7875